

審議会等の会議録

会議の名称	令和元年度 第1回座間市市民参加推進会議		
開催日時	令和元年6月12日（水） 午後2時から午後3時30分まで		
開催場所	座間市役所 5-2会議室		
出席者	峰尾昌子（会長）、杉山朋子（副会長）、手塚明美、菊地孝、水野久子、井上隼人、上野正雄、佐藤隆雄		
事務局	安部市民協働課長、大矢市民活動係長、黒沢主事		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴人数	0 人
議題	市民参加の実施状況及び実施予定について		
資料の名称	① 会議次第 ② 委員名簿 ③ 「座間市市民参加推進条例」の写し（資料1） ④ 「同条例施行規則」の写し（資料2） ⑤ 年度別市民参加実施状況の内訳（資料3） ⑥ 平成30年度 市民参加の実施状況（資料4） ⑦ 平成30年度 市民参加の対象としなかった事項一覧（資料5） ⑧ 令和元年度 市民参加の実施予定（資料6） ⑨ 前回会議録（平成30年度第1回開催分）（資料7）		
会議の内容 （会議次第等 及び発言要旨）	◇次第 1 開 会 2 委 嘱 3 あいさつ 4 議 題 （1）市民参加の平成30年度実施状況及び令和元年度実施予定について （2）その他 7 閉 会		

会議の内容

・次第4 議題

(1) 市民参加の平成30年度実施状況及び令和元年度実施予定について

事務局から配布資料に基づき、市民参加の平成30年度実施状況及び令和元年度実施予定について、説明がありました。

【発言の要旨】

・年度別の実施状況をみると、全体の実施件数が以前に比較して大幅に減ってきているが、市民参加の数の減少傾向についての行政上で要因があるのか。

⇒例えば、平成26年度の件数が平成30年度の倍以上ありましたが、この時期は条例制定や計画策定の準備など案件が重なり、多くの市民参加手続を実施しています。しかし、このところは比較的行政として落ち着いている時期にあるのかと思います。

・そのために件数に波が生じるのは仕方ないと思うが、現在の市がそのような状況であるというのを市民や行政が受け止めておくことも必要だと思う。

・条例縦覧の中で提出された意見に対し、特に担当課では対応されていないとのことだが、どのような内容だったのか。

⇒縦覧の本旨から逸れた意見だったため、対応していないものです。

・逸れている意見であっても、折角出されたのだからそれに見合う担当課に情報提供するなど貴重な市民意見を受けとめることも大切だと思う。

⇒内容を確認します。

・この会議で話し合われたことが、各課で市民参加を考える中でどう活かされているのか。ルートが出来ているのか。

⇒今回の会議への市民参加の報告においては、あくまで分かりやすい公表内容にして市民理解を得るようご意見をいただいております、今回の審議が直接、各課にどう活かしていくかのつながりはありません。

・市民参加の手法については各課とも充分把握していると思うが、所管課が事業を持つときにどういう形で市民参加させるかという判断は各課任せか。

⇒最終的には各課の判断としていますが、既に職員の市民参加に対する

意識は高く、どのような手法を取るかなどについての相談は日常的に受けています。

・市民参加の対象としなかった事項の中で、条例第5条第2項のうち、その理由を第4号としているものがあるが、軽易なものとして良いのか。

⇒本事項はその内容から第5号とすることが適当と判断できることから、担当課と調整し、修正します。

(2) その他については発言者が無く、会長は以上をもって議事が終了した旨を述べ、閉会を宣しました。